

さがの人たちにもっと伝えたい、佐賀の赤十字。

赤十字さが



2025 秋号
vol. 93

年2回発行

4月 10月

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

公式 Instagram /
更新中



特集

「赤十字は動いている」①.2

～知ってほしい

赤十字の災害への取り組み～

■ 2025佐賀インターナショナル
バルーンフェスタ献血 ①.4

■ 市民公開講座「がんの予防と早期発見」
唐津赤十字病院にて開催します ①.5

「赤十字は動いている」

～知ってほしい赤十字の災害への取り組み～

以前より高い
災害への対応

災害
発生

日本赤十字社佐賀県支部の災害への取り組みは、災害直後の応急対応だけではなく、復旧・復興期において被災地が回復していくための支援活動を行っています。平時においては、防災・減災の活動として、地域の住民の方々が、自らのちを守り、共助の力を高めるために赤十字防災セミナーなどを開催しています。

応急対応

被災者のいのちと健康、尊厳を守る

医療救護活動

災害が発生すると、迅速に赤十字救護班を派遣して、被災地の医療が回復するまでの間の応急対応を行います。唐津赤十字病院の医師や看護師を中心に派遣された救護班員は赤十字の人道的な使命に基づいて活動します。



こころのケア

被災者や支援者（地元行政職員など）に対して、傾聴や支援情報の提供等必要なケア（心理社会的支援）を通じて、自分の力で立ち上がる力を支援する活動を行っています。



救援物資の備蓄と配分

被災された方々を支援するため、毛布や安眠セット・緊急セットを円滑かつ迅速にお渡ししています。普段から災害に備えて、救援物資を一定数備蓄し、管理を行っています。



義援金の受付及び配分

日本赤十字社は、災害義援金の受付団体の一つとして、受け付けた義援金の全額を被災した地方公共団体が設置する義援金配分委員会へ送金しています。



血液製剤の供給

血液製剤を安定的に確保及び供給することは、災害時においても血液センターの使命です。このため、佐賀県赤十字血液センターは、輸血用血液製剤が大量に必要となるときは、献血の呼びかけや、全国的なネットワークで、必要な量の確保に努め、医療機関等へお届けする体制を整えています。

寄付のお願い



ひとりでも多くのいのちを救いたい。

防災・減災

災害による苦痛を軽減し、予防する

防災セミナー

災害からいのちを守り、被災に伴う心身の苦痛を軽減することを目的とした防災セミナーを実施しています。「自助」のみならず「共助」に取り組む意味を通じて、地域コミュニティにおける相互扶助の精神を醸成するお手伝いしています。



学校の防災教育支援

青少年赤十字（JRC）の態度目標である「気づき」「考え」「実行する」に基づいて、災害時に自分のいのちを守る適切な行動を取れることを重視して、楽しみながら体験できるようなプログラムを展開しています。



救急法等の普及

赤十字救急法をはじめとした各種講習（水上安全法、健康生活支援講習、幼児安全法）を通じて、事故防止の精神と人間の生命を守るための知識・技術の普及を行っています。また、自治会や自主防災組織等の単位で開催することにより、地域のつながり「共助」を深めることに貢献しています。



災害救護研修・訓練

被災地で赤十字救護班員の能力を十分に発揮するため、日頃より研修や訓練を実施しています。他の関係機関が主催する研修や訓練にも積極的に参加し、災害には緊密な連携が取れる体制づくりを行っています。



復旧・復興

被災者の回復する力を支援する

「日本赤十字社復興支援事業基本方針」に基づき実施されます。東日本大震災の発災後は、赤十字の基本方針に基づき被災された人々や行政と相談しながら仮設住宅等訪問事業や災害対策公営住宅建築支援、保育園等建築支援など、仮設住宅に移り住んでからの生活再建、子どもたちの教育支援、医療や福祉のサービスなどを中心に実施してきました。



赤十字ボランティアによる被災者支援

赤十字奉仕団などのボランティアの特色・個人の能力を活かして被災者のニーズに併せて、炊き出しや避難所の衛生管理、救援物資の配送などの支援活動を実施します。



人道的な活動を続ける赤十字にご支援ご協力をお願いいたします。

「生前整理による寄付」^{いぞう}「遺贈」「相続財産等の寄付」 をお考えの方へ



未来へつなぎたい笑顔がある

近年、「生前整理の一環として、寄付を通して社会貢献をしたい。」または「自分の財産や故人の遺産を、社会のために役立ててほしい。」という、お申し出をいただくことがあります。

日本赤十字社では、このような尊いおこころざしにお応えするため、「生前整理による寄付」や「遺贈」、「相続財産等の寄付」を承っています。

生前整理による寄付

生前整理による寄付とは、生前にご自身の財産整理の一環として、社会のために寄付することをいいます。

遺 贈

遺贈とは、遺言によって財産の全部または一部を団体などの第三者に贈与することをいいます。

相続財産等の寄付

相続財産等の寄付とは、相続により取得した財産の全部または一部を故人の思いを汲んで寄付することをいいます。

お問い合わせや資料請求は、佐賀県支部総務課まで ☎0952-25-3108 (平日9:00~17:00)

2025佐賀 インターナショナル バルーンフェスタ献血

佐賀県赤十字血液センターでは、今年も佐賀インターナショナルバルーンフェスタの会場に献血バスを配車し、10月30日（木）から11月3日（月）までの5日間、期間を通して献血の受付を行います。

佐賀インターナショナルバルーンフェスタは、佐賀市嘉瀬川河川敷をメイン会場として開催されるバルーン（熱気球）の国際的なフェスティバル（競技大会）です。参加するバルーンは約100機にもおよび大会期間中の来場者数は80万人を超えるアジア最大級の規模を誇るイベントです。

昨年は、大雨の影響で大会が中止となったため、献血実施は1日のみでしたが、例年は5日間で約500名の方に献血のご協力をいただいています。今年もバルーン会場にて多くの皆様のご来場と献血へのご協力をお待ちしています。



令和7年度 地域がん診療連携拠点病院

第15回 唐津赤十字病院

市民公開講座

入場無料

事前申込
不要

がんの予防と早期発見

日時

令和
7年

12月13日(土)

13:30 ~ 16:00

(開場 13:00)

会場

唐津赤十字病院
佐野講堂



司会

唐津赤十字病院
がん医療推進センター長

鮫島 隆一郎

ご挨拶

唐津赤十字病院 院長

宮原 正晴

体験・展示
コーナー
13:00 ~ 16:30
がん検診推進コーナー
がん患者・家族サロン紹介
健康増進コーナー
赤十字事業紹介

講演Ⅰ 13:45 ~ 14:00

「科学的根拠に基づくがん予防」

唐津赤十字病院 がん医療推進センター長 鮫島 隆一郎

講演Ⅱ 14:00 ~ 14:30

「胃がん・大腸がん検診について」

唐津赤十字病院 第1内科部長 野田 隆博

..... (休憩 14:30 ~ 14:45)

講演Ⅲ 14:45 ~ 15:15

「前立腺がん検診について」

唐津赤十字病院 泌尿器科部長 明利 浩行

講演Ⅳ 15:15 ~ 15:45

「がん検診・人間ドックについて」

唐津赤十字病院 疾病予防センター長 富樹 りか

主催 唐津赤十字病院

Active Report

令和7年活動報告

佐賀県支部

2月21日(金)～3月2日(日)

ラオス赤十字社救急法普及支援事業に佐賀県支部職員が参加！

日本赤十字社は、ラオス赤十字社の救急法普及事業を2019年から支援しており、2022年からの第2次支援では、学校教員や生徒を対象に応急手当の知識と技術の向上を目指しています。

2025年2月、佐賀県支部職員が現地を訪問し、講習のモニタリングや技術支援を実施しました。ラオスの人々の安全な暮らしを支える取り組みが続いています。



4月1日(火)～

唐津赤十字病院

摂食・嚥下障害看護認定看護師の奮闘！

～1日でも長く、安全に、美味しく食べるために～

地域で食べることに不安を感じている方々の力になりたい。そんな想いから唐津赤十字病院では、「摂食嚥下機能評価外来」を開設しました。“むせる、飲み込みづらい”といった症状がある方は、ぜひ一度、専門的な検査をご検討ください。窒息・誤嚥・それに伴う健康被害を未然に防ぐことが大切です。

入院中も、医師・看護師・言語聴覚士・管理栄養士など多職種が連携して「食べる」をサポートします。

水を飲むことも難しかった患者さんが、笑顔でご飯を食べられるようになったとき、大きなやりがいを感じます。患者さんの生活は退院後も続きます。だからこそ、私たちは、美味しく安全に食べられる状態まで回復してほしい——そんな想いで、日々、患者さんと向き合っています。



6月16日(月)

佐賀県支部

令和6年度事業報告及び歳入歳出決算が承認されました

令和7年度第1回支部評議員会

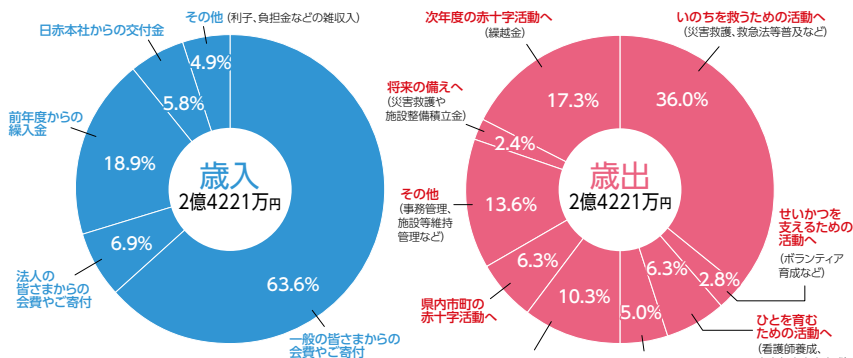
< 令和6年度 佐賀県支部決算 >

支部及び唐津赤十字病院の令和6年度の事業報告及び決算並びに佐賀県赤十字血液センターの令和6年度事業報告が承認されました。

※評議員会は佐賀県支部の重要事項を審議する機関です。

唐津赤十字病院
令和6年度医療施設特別会計決算

収入	9,593百万円
支出	9,410百万円
差引	183百万円



注1) 前年度からの繰入金及び次年度への繰越金は、年度当初の運転資金確保のために行っています。
注2) 被災者の方に全額お届けする「災害義援金」は、上記には含めていません。

6月29日(日)～7月6日(日)

ファイト！九州献血推進プロジェクト

～いのちのリレー2025～

福岡ソフトバンクホークスの『ファイト！九州』プロジェクトにおけるCSR活動の一環として「ゆめタウン佐賀」で『ファイト！九州応援デー』を、「献血プラザさが」で『ファイト！九州WEEK』のイベントを実施しました。

イベント期間中は、献血にご協力いただいた方々にオリジナルタオルを進呈し、さらにソフトバンクホークス選手のサイン入りグッズが当たる抽選会を行いました。キャンペーン期間中は、両会場あわせて530名の方に献血のご協力をいただきました。多くの皆様のご協力誠にありがとうございました。



9月3日(水)

唐津赤十字病院にハローキティが笑顔と車いすを届けてくれました

～Sanrio Character Aid※～

唐津赤十字病院にハローキティが訪ねてくれました。小児患者さんは、「キティちゃんに会うのは初めて！」と握手やハグを交わしながら、楽しいひとときを過ごしました。付き添いの保護者さんもみんな元気になりました。不安が多い入院ですが、この日は病院全体が笑顔に包まれ、心温まる時間となりました♡

サンリオ様には、赤十字活動資金や国内災害義援金、海外救援金などにもご協力いただいております。今年はサンリオキャラクターのオリジナルデザインの車椅子もいただきました。佐賀県北部医療圏で小児患者さんが入院できるのは当院のみです。病棟に新たに導入されたこのかわいい車椅子は、治療中の子どもたちにとって大きな励みとなっています☆

キティちゃん、治療を頑張っている小児患者さんと保護者さんへ、笑顔を届けにきてくれてありがとう。

私たちは、これからも地域の最後の砦として誇りと責任をもって地域の小児・周産期医療に貢献してまいります。

※この活動はサンリオ様によって、病気や障がいを持つお子さんや、被災地を応援する社会貢献活動の一環である「Sanrio Character Aid」として実施されたものです。



赤十字

Supporters

サポーターズ

vol.16

2025年 大阪・関西万博

～赤十字パビリオン運営スタッフに
ボランティアを派遣！～

2025年4月13日から開催されている2025年 大阪・関西万博。

佐賀県支部からは赤十字パビリオンの運営スタッフとして、6名のボランティアを派遣しました。今回は、派遣された赤十字ボランティアの皆さんに、ボランティアの魅力や派遣への想い、派遣後の感想など語っていただいたことをまとめました。

●ボランティアの魅力とは？

—— 支え合いの中で生まれる力

ボランティア活動を通じて得られるのは、人とのつながりや感謝の気持ち。

「ありがとう」の言葉や仲間との協力が、ボランティアを続ける力になっており、誰かの役に立てる喜びが魅力と語られました。

●運営スタッフ参加の動機とは？

—— 今しかできないことへの挑戦

「行ってみたかった」「何か役に立ちたい」「一生に一度の機会だから」といった率直な声が聞かれました。

中でも、「日本赤十字社の原点がパリ万博にある。そんな万博が日本で開催されるなら、自分もその場に立ち会いたい。佐野常民先生の想いを感じたい。」という言葉が印象的でした。

●派遣への期待と意気込み

—— 感謝を胸に、笑顔で

派遣される皆さんで意気込みを一つの言葉にまとめました。

「笑顔で感謝」

この言葉には、「参加できることへの感謝」「活動を通じて笑顔を届けたい」「経験を地域に還元したい」という思いが込められています。

「失敗もあるかもしれないけど、それも含めて感謝の気持ちで臨みたい。」と熱い想いを聞かせてくださいました。



●派遣を終えて……

赤十字パビリオンで出会った「相手の気持ちを思って声を掛けることができるのは、人間しかない」という言葉が心に残り、「人間を救うのは、人間だ。」という赤十字の理念が深く胸に刻まれました。

世界では今も紛争や災害が絶えず、多くの人々が苦しんでいます。だからこそ、人と人とのつながりを大切にしながら、これからも赤十字のボランティアとして活動が続けたいと強く感じました。

アンケートに
ご協力を
お願いします

『赤十字さが Vol.93』をご覧いただきありがとうございます。
『赤十字さが』では、読者の皆様の声を紙面づくりに活かすため、今回からアンケートを実施いたします。誌面右のQRコードから、ぜひご回答ください。皆様の貴重なご意見をお聞かせください。
※設問数は7問で、回答にかかる時間は約3分です。



日本赤十字社

佐賀県支部

〒840-0843 佐賀市川原町2番45号
TEL 0952-25-3108

唐津赤十字病院

〒847-8588 唐津市和多田2430番
TEL 0955-72-5111

佐賀県赤十字血液センター

〒849-0925 佐賀市八丁磯町10-20
TEL 0952-32-1011